

新座市指定管理者制度導入施設管理状況評価シート（令和4年度分）

【施設の概要】（所管部記入）

施設名	老人福祉センター（愛称：えがおの里）、第二老人福祉センター（愛称：元気の里）			
所在地	新座市堀ノ内2-3-45、新座市大和田4-18-41	所管部署	いきいき健康部 長寿はつらつ課	
制度導入年度	平成18年度	選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 / <input type="checkbox"/> 指名	
指定管理者	名称	帝国ビル管理協同組合	所在地	東京都豊島区豊玉上2-25-9
	指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）		

【事業概要】（指定管理者記入）

事業概要	<p>えがおの里及び元気の里ともに、令和3年度に引き続き令和4年度も新型コロナウイルス感染予防に重点を置き事業をスタートしました。その後、5月には声を発するサークル（カラオケ、民謡、コーラス、詩吟等）が活動を再開、7月にはお風呂および飲食の一部緩和、11月には一般利用者のカラオケを再開しました。</p> <p>イベント事業は、福祉フェスティバルへの参加及び七夕会は中止となりましたが、9月の「敬老の日の集い」から、会場の入場制限やZOOM会議を活用したりリモート会場の設営等によりイベントを再開し、12月の「クリスマス会」、1月の「新春レクリエーション」、3月の「サークル実技発表会」を実施しました。</p> <p>その結果、令和4年度の利用者総数が、えがおの里44,953名、元気の里45,994名で、コロナ禍前の平成30年度と令和4年度を比較すると、えがおの里が68%、元気の里が94%（元気の里は、令和元年に施設移転しており単純比較が難しい）まで回復しています。</p>
特筆事項	<p>令和3年度に引き続き令和4年度も新型コロナウイルス感染クラスターが発生しないよう、感染防止対策に注力しながら各種事業を実施してまいりました。</p> <p>具体的な新型コロナウイルス感染防止対策として、1日2回、午前と午後館内全体のアルコール消毒を行い、マツサージチェアやスカイウエル等の備品に関しては使用の都度、健康麻雀牌や碁石、将棋駒等もそれぞれに消毒方法を決定し毎日実施しました。また、館内で新型コロナウイルスの感染者が出た場合に備え、入館利用者データ取得以外に入浴者データ、退館時刻データも記録し、濃厚接触者を抽出可能としました。</p> <p>令和4年度の初めての試みとして、ZOOM会議アプリを活用した「敬老の日の集い」イベントのリモート会場設置や、TJUP地域交流委員会（十文字学園女子大学 西武文理大学 大東文化大学 文京学院大学）、ふじみ野市、文京学院大学共催の公開講座を実施しました。</p> <p>さらに、LINEやツイッターを利用した情報発信も開始しました。</p> <p>これからも、SNSや各種アプリケーションを活用し、センターのデジタル化を推進してまいります。</p>

【総合評価】

指定管理者の自己評価				
総合評価	S	<input type="checkbox"/>	優良	項目別評価総括が全てA以上であり、Sが二つ以上である。
	A	<input checked="" type="checkbox"/>	適正	項目別評価総括が全てA以上である（上記以外）。
	B	<input type="checkbox"/>	課題あり	項目別評価総括にBが含まれている。
評価内容	<p>令和4年度は、新型コロナウイルスの流行がピークを越え、施設内での各種利用制限が徐々に緩和される中、センター利用者の理解を得ながら、従来とは異なる運営ルールを設け実施してまいりました。</p> <p>えがおの里と元気の里では施設設備等の違いから、それぞれの館で、その施設にあった独自のルールを設け、臨機応変に対応できたことは一定の評価ができると自負しております。</p> <p>コロナ規制の中で、試行錯誤を繰り返しながらIT化を図り、ZOOM会議機能を活用したイベントサテライト会場の設営やLINE、ツイッターを活用した情報発信、実施には至りませんでした。ユーチューブライブのテスト等、今後の施設運営に有効なデジタル技術の取り込みができました。</p> <p>今後はこれらの技術を活用し、よりアクティブで効率的なセンター運営を行ってまいります。</p>			
改善策	※ 評価Bの場合のみ記入			

市の評価

総合評価	S	<input type="checkbox"/>	優良	項目別評価総括が全てA以上であり、Sが二つ以上である。
	A	<input checked="" type="checkbox"/>	適正	項目別評価総括が全てA以上である（上記以外）。
	B	<input type="checkbox"/>	課題あり	項目別評価総括にBが含まれている。
評価内容	<p>令和4年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一部事業や活動を制限した中での運営となったが、その中でも、利用者に配慮しながら、可能な限り事業を実施することができた。5月は一部サークルの活動再開、7月は浴場及び飲食の一部緩和、11月には一般利用者のカラオケ利用を再開する等、徐々に規制を緩和し、「敬老の日の集い」や「新春レクリエーション」等、新型コロナウイルス感染症流行後中止していた事業を再び実施することができ、令和3年度よりも利用者数が大きく増加した。</p> <p>感染症対策については、市との打合せを重ね、安全・安心な施設運営に向けて積極的に取り組み、館内で新型コロナウイルスの感染者が出た場合に備え、利用者の入退館時刻データを記録し、濃厚接触者を特定できるシステムを構築した点は評価できる。</p> <p>また、令和4年度からLINEやツイッター等のソーシャルメディアを利用した情報発信を推進したり、センターをサテライト会場として活用する等、高齢者がデジタル技術に触れる機会を増やし、デジタルデバイドの解消に努めた点も大きく評価できる。今後も利用者のニーズや反応に見合った高齢者のデジタルデバイドの解消に向けた取組を期待したい。</p>			

【市の評価を受けた今後の取組や改善策等】（指定管理者記入）

今回、評価を頂いた安心安全な施設運営、IT技術の活用および高齢者のデジタルデバイドの解消に向けた取り組みを更に強化してまいります。

1. 安心安全な施設運営に関しては、今後も利用者の協力を得ながら、入退館関連システムの充実を図り、利用者の見守りに努めます。

2. IT技術の活用に関しては、Line、Facebook、Zoom、YouTube等を活用し情報発信の強化を図り、利用者とのコミュニケーションを更に深めてまいります。

3. 高齢者のデジタルリテラシーの取り組みに関しては、パソコン教室やスマホ教室の授業内容の充実を図り、また、教室以外の日常的なIT関連に関する問い合わせに関しても、出来る限りの対応を行ってまいります。

以上、高齢者施設においてもDXに対する取り組みは必須であると考えており、スタッフ全員で取り組んでまいります。

【過年度の評価結果まとめ】（所管部記入）

評価区分	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	令和7年度 (4年目)	令和8年度 (5年目)
指定管理者の自己評価	A				
市の評価	A				